

あっぱ



祝橋に和東小学校の キャラクター「ちゃぱ」

橋に愛着を持ってもらおうと企画されたこの絵は、和東小学校の児童により描かれました。10月で橋が舗装され見えなくなりましたが、いつまでも通行者を見守ってくれることでしょう。

第3回定例会

決算 令和3年度決算概要・主な質疑 >>> P.2

決まったこと 補正予算他 >>> P.6

一般質問 3人が町政を問う >>> P.8

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 国民健康保険診療所長 牛込先生 >>> P.14

第5次総合計画へ

令和4年から8年まで

令和3年度の決算は、第4次総合計画の最終年度であり、6つの協働プログラムに沿って事業が行われた。



体験交流センター耐震改修

和東を担う次世代の ひとづくり協働プログラム

- ・ 体験交流センター改修事業
6536万円
- ・ 子育て世帯臨時特別支援事業
3296万円
- ・ 高校生等就学応援給付金
1131万円

住民が支えあふ安心と信頼 の協働プログラム

- ・ 障害者自立支援給付事業
9765万円
- ・ 住民税非課税世帯等臨時特別給付事業
5138万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業
3835万円



コロナワクチン接種

安全で快適な暮らしを 実感できる協働プログラム

- ・ 祝橋整備事業 1億7000万円
- ・ 石寺橋整備事業 6451万円
- ・ 路線バス対策事業 2085万円



完成が待ち遠しい祝橋

第3回定例会は9月7日から22日までの会期で開催された。町長提案の令和3年度決算認定7件、令和4年度補正予算4件、自治功労者の表彰や社会福祉センター解体工事請負契約の締結、祝橋架設工事請負契約の変更、相楽郡広域事務組合規約変更など提案され、全て可決・同意・認定されました。

決算認定は、13日、14日全議員で構成する決算特別委員会で審議した。質疑、討論、採決の結果、一般会計及び特別会計の決算認定を原案どおり認定した。

第4次総合計画から

平成29年から令和3年まで

令和3年度決算額

一般会計

歳入総額	38億3879万円
歳出総額	37億8149万円

特別会計（6特別会計）

歳入総額	19億1424万円
歳出総額	18億3923万円



森林保全のため竹やぶを伐採

自然を守りともに暮らす 協働プログラム

- ・和東保育園耐震改修事業 (仮設保育園の東保育園改修) 5918万円
- ・森林保全治山治水事業 701万円
- ・防火水槽整備設計事業 347万円

和東のブランドを高める 協働プログラム

- ・茶源郷和東生活応援商品券 3928万円
- ・凍霜被害茶園対策助成金 1183万円
- ・農業次世代人材投資給付事業 787万円



コロナ禍で配布された生活応援商品券

白栖

尾根と谷が連なる地形に
寄り添う稲作・茶業集落

原山

山腹に広がる大茶園に
包まれたひな壇集落



茶業景観を地形・土地利用・建物から見た調査結果

住民・事業者・行政がともに 進める協働プログラム

- ・戸籍電子化事業 986万円
- ・文化的景観調査事業 301万円
- ・コンビニ交付サービス事業 88万円

決算特別委員会

Q&A

Q 国民健康保険において、短期被保険者証の対象者は何人か。また資格証明書とは何か。

A 短期被保険者証は、滞納者に対して発行されるものであり、令和3年度末で18世帯あります。資格証明書は更なる滞納者に課されるもので、医療費全額負担のうえ、後で7割分を還付されるものです。

Q スマートワークインレジデンスの利用状況について問う。

A 令和3年度については152件648名の利用があり、収支はマイナスですが、各種企画会議やオンライン利用があり、学研企業等への呼び込み発信も行っています。

Q 下水道のストックマネジメント計画とは。

A 長寿命化計画であり、5年10年のスパンで計画的に改修していきます。

Q 下水道処理場に、単一浄化槽のし尿を入れられないか。

A 今の施設では不可能です。

Q 茶源郷行政情報配信システム（光ボックス）の設置状況は。

A 機器の設置台数は421台であり、その他28台の新規予約があります。

Q 光ボックスの今後の環境作りについて問う。

A 防災行政無線の個別機・タブレットによる代用、ポケットWiFiの活用についても検討したい。

Q 現在までワクチン接種率はこの程度か。

A 町全体で3回まで接種率90%くらい。

Q ワクチン接種会場設置等委託料380万円の内容は。

A B&G海洋センター設営費用であり、設営・撤収、備品関係等の委託料です。

Q 町全体における特別会計への基準内繰入れとは何か。

A 簡易水道事業については、国から示されている部分が基準内繰入れであり、下水道事業については、国から示されていない受益者負担の部分や

国保直診事業などは基準外繰入れとなります。

Q 2016年に電力が完全自由化になったが町の電気調達はどこからされているのか。

A 関西電力と契約しており、民間より割高ですが大口契約となり、15%割引となります。

Q 令和3年度の町外からの移住者は何名か。また、移住定住促進のために最も念頭に置かれている事は何か。

A 11世帯16名の方が移住されており。また、和東はお茶のまちという視点で様々な事業を通して各種の団体と連携し種々のメディアを通して発信します。

Q 町内で産まれ育つた職員で現在は町外から通勤されている職員は何名か。

A 職員79名のうち町内20名、町外59名在住しており、うち25名は町内生まれの転出組です。

Q 適正な職員数とは。

A 積極的な地域づくりをしていく上で職員79名というのは

非常に厳しい。今後いろんな制度も取り入れ、職員をもう少し増やしていく事も必要かと思っている。

Q 道路の関係で繰越明許費が多いが、その理由は。

A お茶の時期との関係で工事が遅れるのが、第一の理由です。

Q 共同製茶等省力化で137万の予算は団体に対しての補助か。

A 府の茶業振興事業で2件の採択がありました。個人には適用されないので、今後、府の方へ要望していきたい。

Q 犬打峠トンネル工事の進捗状況について問う。

A 予定より遅れ気味ですが、令和6年3月完成を目途に進めています。

一般会計決算

賛成討論（村山一彦議員）

- ①コロナ対策では、ワクチン接種について関係機関と連携しながら全庁的な接種体制を構築し、迅速に接種を進められた。また、地域経済の好循環を目指した生活応援商品券事業や子育て世帯、非課税世帯、事業者など限られた財源の中で、支援が必要な対象者に対して適切な支援を行うなど、住民生活の下支えとなる施策を展開された。
- ②人口減少や少子高齢化の解消について、保育園耐震改修事業に向けた仮園舎として東保育園・いきいきこども館の改修を行うとともに、保育料や医療費、給食費などの無償化を継続し、子育てしやすいまちづくりに向け引き続き取組を推進された。また、近年、重点を置いて取り組んでいる移住・定住施策についても例年以上に移住者が増加し、取り組みの成果が実を結びつつある。
- ③老朽化に伴う祝橋の架替工事や河川の浚渫など住民の命と暮らしを守るための取組や利便性と財政負担とのバランスを考慮した新たな地域公共交通体系の検討、凍霜害を受けた茶業に対する支援、「茶源郷行政情報配信システム」の更新及び機能強化など、安心して住みやすいまちづくりのための取組を推進された。

以上、第4次総合計画の集大成となる事業の推進と第5次総合計画に掲げる将来像「和の郷 知の郷 茶源郷和東」の実現へ向けた第一歩となる事業を展開されたことを評価し賛成する。

反対討論（岡本正意議員）

- ①コロナ対策では、ワクチン接種がスムーズに進められた点や、福祉現場等での定期検査の実施、生活支援での給付金支給や水道基本料金の免除など評価できるが、PCR検査補助の未実施や感染対策全般にわたる必要な情報発信や情報提供等が十分でなかった。
- ②茶業の凍霜害支援について、補助の拡充等もう少し努力できたのでは。お茶の町として、基幹産業を守るために何が必要か、今まで以上に求められている。
- ③定住促進について、最大の課題は住宅の整備や確保。空き家対策としては、登録数や契約件数の増加が見られるが、住まいの安定的な供給、多様なニーズに応えるには公的な住宅の整備や確保が不可欠です。
- ④子育て支援については、これまでの施策の継続を土台に、高校生等の通学負担などにさらに踏み込んだ支援の拡充を検討すべき。
- ⑤公共交通について、カートによる地域交通の構築が白紙に戻り、具体的な方向性がなかなか明らかにならなかった。現方向性は、路線バスの維持に主眼があり、デマンド型の導入も路線バスへのアクセスという限定的な方式にとどまっている。負担面の改善も見られない。路線バスの維持に縛られない方向性の検討も併せて進めるべき。
- ⑥総合保健福祉施設の整備について、施設の設計を託す業者選定等、不透明で不可解な町行政の対応は、住民の不信を招き、責任は極めて大きい。
- ⑦相楽東部広域連合の在り方、特に教育委員会の連合による運営の見直しの必要性について、現実を受けとめ、子供たちや地域にとって教育行政は本来どうあるべきかを今こそ考え、教育委員会事務を各町村に戻すことを真剣に検討すべき。以上の理由から反対する。

8月臨時会・9月定例会で決まったこと

○和東保育園耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結

契約金額

1億5400万円

契約相手方

藤原・吉田特定建設工事
共同企業体

○社会福祉センター等解体工事請負契約の締結

契約金額

7400万8000円

契約相手方

山城・山喜特定建設工事
共同企業体

○祝橋上部工架設工事に係る工事請負契約の変更(第2回)

契約金額

1億8142万8000円

1億8152万5300円

変更内容

アスファルト舗装施工に係る仮設道路の変更

○相楽郡広域事務組合規約の変更

名称を「相楽広域行政組合」に改め、共同する事務の変更など

令和4年度補正予算では、一般会計・特別会計合わせて8040万円増額された。

○一般会計補正予算

- ・簡易陰圧装置設置経費支援補助金 2231万円
- ・道路維持補修費 1800万円
- ・茶業経営支援給付金事業 1764万円
- ・総合保健福祉施設整備事業(仮設駐車場) 1500万円
- ・石寺景観前駐車場整備事業 1334万円
- ・茶源郷まつり補助金 300万円

○国保直診勘定補正予算

- ・感染症遺伝子検査装置 157万円

○簡易水道事業補正予算

- ・祝橋架替工事に伴う水道管布設替工事 450万円

○下水道事業補正予算

- ・祝橋架替工事に伴う下水道設備等工事 △150万円

主な質疑

問 茶業経営支援給付金事業の内容や住民への周知は。

答 肥料など資材の価格高騰により茶農家さんに肥料購入費の一部を支援するもので、経営面積に応じて、10アール当たり一律4000円給付させていただく。給付額の上限は設けていません。11月広報紙で周知し、できるだけ早く申請受付の予定をしている。

問 石寺景観前駐車場整備について、駐車台数はどの程度予定されているのか。整備された後の管理方法は。

答 20台以上駐車できるように予定している。整備後は町有地となるが、管理運営については現時点、石寺区が立ち上げられる地縁団体に委託させていただく予定をしている。

問 簡易陰圧装置設置経費支援補助金の内容は。

答 陰圧装置は、新型コロナウイルス

だけでなく感染症関係全般に対応するもので、部屋にこれをつけた中で陰圧を変えて外に排出するというものです。今回、町内にある特別養護老人ホームからの要望で、京都府補助事業を活用し、23基設置する。2年前にもこの補助事業により短期入所の施設に10基設置した。

問 今年、茶源郷まつりを開催されるのか。

答 和東町商工会、営農組合の方にも声をかけさせていただき、11月の実施は難しいが、それに近い月で現場での開催を考えている。

問 新生児聴覚検査委託料及び助成金の内容は。

答 出生後すべての新生児に聴覚異常がないか病院に検査を委託するもので、10月から実施予定です。今までの検査は任意で、費用は全額自費でした。4月1日から9月30日まで既に自費で支払われている方には、委託料と同額を助成します。

意見書

第3回定例会（9月）に次のとおり意見書が提出されました。

①安倍元総理の「国葬」に反対し中止を求める意見書

否決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 1人
反対者 8人

②新型コロナウイルス感染対策の抜本的強化を求める意見書

否決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 4人
反対者 5人

③核兵器禁止条約への参加を求める意見書

否決

提出者 岡本正意 議員
賛成者 2人
反対者 7人

自治功労者表彰

長年にわたり、本町の地域医療の発展に貢献された元国保診療所長の表彰に同意しました。

桐山 藤重郎 氏

各議員の賛否

令和4年第3回定例会(9月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡本 正意	畑 武志	小西 啓	岡田 泰正	
認定	委	令和3年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	令和3年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	令和3年度和東町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	×	○	×	○	×	○	
認定	委	令和3年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	×	○	×	○	×	○	
認定	委	令和3年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	令和3年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	本	令和4年度和東町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
可決	本	令和4年度和東町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
否決	本	安倍元総理の「国葬」に反対し中止を求める意見書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	-
否決	本	新型コロナウイルス感染対策の抜本的強化を求める意見書	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	-
否決	本	核兵器禁止条約への参加を求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない
岡田泰正議長は本会議の採決に、岡田勇決算特別委員長は決算認定の採決に加わりません。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

9月7日に行った一般質問には、3人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山 豊彦 議員（9ページ）

1. 地域資産を活用したまちづくりを進める計画は
2. 府道5号線（木津信楽線）の安全対策は
3. 下水道事業・浄化槽整備事業の今後の展望は

②村山 一彦 議員（10ページ）

1. 人事体制を問う
2. ふるさと納税の状況と今後の取り組みは

③岡本 正意 議員（11ページ）

1. 「第8波」見据え、検査、医療・診療体制の充実・強化を
2. 物価高騰から高齢者の暮らしを守れ
3. ごみ収集場所の見直しを

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。





高山 豊彦 議員

地域資産を活用したまちづくりを進める計画は？

町長

「見るお茶・食べるお茶・体験するお茶・飲むお茶」で周遊観光の好環境の創出事業を展開したい。

問 事業を進めるための課題と、住民に求める協力・協働とは。

答 町長

観光消費額が府内平均以下で、本町や和東茶の認知度が低い、また生業景観や茶産業を維持する担い手不足や少子高齢化と人口減少に伴う地域活力の衰退等が課題。「協働」とは町民活動団体等と行政が互いの特性を認め合い、心を通わせながら、共通の目標に向かって知恵と力を出し合い、協力・連携しながら地域の課題等に共通の認識を持って取り組むこと。

問 石寺地区駐車場整備の今後の計画工程と、駐車場完成までの対策は。

答 地域力推進課長

今議会に測量と設計業務委託等の補正予算を計上。併せて農振地解除事務を進め、来年度当初予算で土地取得費用、6月補正予算に工事費を計上する予定。また、路上駐車禁止の注意喚起や来訪者のマナー向上に向け啓発に努め、駐車場完成までの期間、路上駐車を

少しでも解消できるように検討を進めたい。

府道5号線の安全対策は

問 京都府に対して沿線の樹木等の伐採も含め、安全対策の要請は。

答 建設事業課長

路側の草を年一回、樹木については、住民や通行者から通報・要請等が届いた場合、山城南土木事務所と調整を行い予算の範囲内で実施していただいている。

問 建築限界の基準から、道路上に突き出た樹木等が原因で事故が発生した場合、樹木の所有者に損害賠償を求める裁判事例がある。住民への協力依頼とともに、府へ強く要望願いたい。

答 建設事業課長

所有者の理解・協力がなると難しい部分もあるが、京都府とタイアップしながら進めたい。

下水道事業・浄化槽事業の今後の展望は

問 住民負担額の格差の検討結果と課題は。

副町長

整備費用については、ほぼ格差はないが、維持管理費で浄化槽の方が年間約2万4000円程度高くなっている。高齢化が進む中で両事業施設の管理・運営に大きな課題がある。



和東中央浄化センター

問 ストックマネジメント計画及び事業継続計画の進捗状況と問題点は。

答 建設事業課長

30年近く経過した施設の維持管理・運営は非常に厳しい状況、毎年予算措置をし、維持修繕に努めているが、計画を実行するには多額の事業費が必要、令和5年度を目途に全ての計画をまとめ、下水道委員会に諮問し議論を重ねたい。

問 現状の合併浄化槽

の整備率と今後の整備の考えは。

答 農村振興課長

整備率は54・9%、生活排水処理事業として大きな課題もあり、様々な観点から検討が必要。

問 町全体の財政展望と住民負担軽減の計画は。

答 総務課長

令和3年度財政力指数は0・175で、収入の殆どが地方交付税や国・府の補助金に頼らざるを得ない大変厳しい状況。人口減少により地方交付税は減少する見込み、住民福祉の向上を図るため、個々の負担軽減が必要と判断された場合、計画的に積立てている基金を活用し事業推進を図っていききたい。

問 減少が予想される下水道料金の確保や維持管理費の捻出は。

答 副町長

高額な改修費が必要で、未接続世帯の対応や料金改定等、ストックマネジメント計画を基に下水道委員会で議論をお願いしたい。



今年から5年間、毎年2名の課長が 定年退職を迎えるが対策は

村山 一彦 議員

町長

現在、定年延長に係る条例整備を進めている

人事体制

問 今年から5年間、毎年2名計10名の課長が定年退職を迎えるが対応策は。

答 町長

国家公務員法等の改正法により定年年齢を令和5年度から一歳ずつ引きあげ。現在、定年延長に係る条例整備を進めている。現行の制度でも本人が希望すれば65歳まで再任用として勤められる。

問 現在の課長補佐、係長は、何名か。

答 副町長

課長補佐12名、内3名は再任用職員、係長4名。

問 和東町の職員を120名から80名に削減したのは何年か。

答 副町長

平成22年度です。国の補助金、交付金が削減され、平成17年より集中改革プランを立上げ6年で職員80名に削減。

問 今年度一般事務職員の採用はなかったが原因は。

答 副町長

昨年9月に8名の方が採用試験を受験されており3次試験を経て1名の方に採用通知を出したが直前に辞退された。

問 笠置町は3名の方が採用されている。不慣れた地理状況にある和東町では差別化を図る必要があるのでは。

答 副町長

笠置町の初任給は大卒18万2200円で和東町は18万8700円となっている。

問 中途採用は考えないのか。

答 副町長

社会経験された方では年齢を広げて募集をかけている。一般事務では30歳までとしている。

問 この3年間で課長補佐が、3名も定年を待たずに辞めている。この現実

をどう考えているのか。

答 副町長

大変残念に思う。ただ再出発の意を持った方もいるし個人の家庭の事情の方もいろいろ要因はあると考える。

ふるさと納税

問 受入体制は総務課長をはずし専任体制にすべきでは。

答 町長

検討していきたい。

問 返礼品業者の募集を行っているが周知されていない。どのような方法で行っているのか。

答 総務課長

令和4年2月から和東町のホームページに掲載している。併せて担当職員が個別に町内の事業者を訪問している。

問 返礼品の写真がホームページ上で掲載されているがインパクト感がない。刷新すべきと考えるか。

答 総務課長

事業者と協議し新しい写

真、変わった角度から見るとような形で検討したい。

問 ふるさと納税による他自治体への令和3年度の流出額は。

答 税住民課長

136万6000円です。(参考、ふるさと納税受入額は115万2000円)

問 企業版ふるさと納税について働きかけは。

答 町長

町づくりのなかで、そういう形で参加していただきたいが、まだ結果は出ていない。



ふるさと納税返礼品

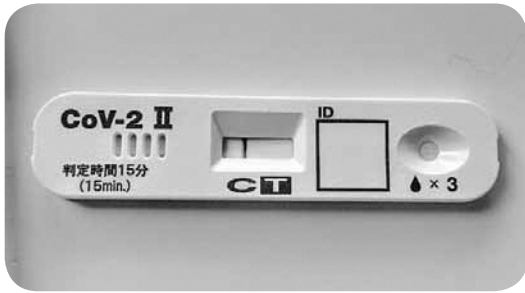


「第8波」見据え、検査、医療・診療体制の充実、強化を

岡本 正意 議員

町長

感染者の状況を把握し、対応をしっかりと行うのが基本であり重要



検査体制の充実を

問 「いつでも、誰でも、無料で、何度でも」の検査体制整備、PCR検査実施を。

答 町長

無料抗原検査は引き続き取組む。

答 診療所事務長

PCR検査実施へ進めている。

問 無料検査を土日や夜間でも実施を。

答 診療所事務長

実施体制もあり相談が必要となる。

問 高齢者施設、保育園、学童保育、学校、介護事業所、観光関係等での定期検査を。

答 福祉課長

高齢者施設は8月下旬から再開、保育園や学童は定期検査を継続、観光関係は準備中、学校は教育委員会と協議中。

問 万全な診療体制へ

①自宅療養者への訪問診療は可能か②「全数把握」中止後も全患者を放置せず対応を。

答 診療所事務長

①往診も出来るかもしれないが、まずは電話で対応する②現在実施している健康観察等は継続する。

答 町長

②対応はきちっとするのが大事と認識。

問 ①「かもしれない」でなく「できる」が良いか。

答 診療所事務長

患者が求めれば可能だが、急変時は救急車を要請する。

問 後遺症の情報提供、相談体制整備を。

答 福祉課長

より分かりやすい情報を提供し、相談体制をつくりたい。

問 インフルエンザ予防接種への補助を中高生も対象に。

答 町長

今年も小学6年生までの子ども、高齢者を対象に無償化する。拡充の方向は大事故だが今後検討したい。

物価高騰から高齢者の暮らしを守れ

問 後期高齢者の医療費窓口負担増等への減免を。

答 町長

受診抑制防止へ高額療養費制度で配慮される。

問 灯油代、電気料金への補助を。

答 町長

国の動きを注視し家計全体を支援する方策を模索したい。

問 介護保険料の時限的な減免を。

答 福祉課長

条例での減免制度を利用いたしたい。

問 低所得世帯への支援金支給を。

答 町長

この間、国の施策で住民

税非課税世帯への給付を実施している。

ごみ収集場所の見直しを

問 高齢化、免許返納等でごみ収集場所まで行くことが困難なケースも増えているとの認識は。

答 町長

ニーズと支援体制を整理し問題解決に努めたい。

問 実態を把握し、必要があれば場所の見直し、個別対策の検討を。

答 農村振興課長

現段階では個別収集は出来ないが柔軟な対応を心掛けたい。実態把握を行う時期に来ていると思う。



総務厚生常任委員会

地域公共交通デマンド化
実証実験始まる

村山
高山・岡本
畑・岡田(勇)

8月23日、令和4年度事業執行状況等について事務調査を行った。

総務課

○ 柚田地区内に設置予定の耐震用地下式防火水槽は、8月中に入札予定。

○ 大学生等奨学金給付の2次募集を9月から10月に実施。

福祉課

○ 障害者地域支援事業では、新たに障害者の訪問入浴支援を開始した。

○ 和東保育園耐震補強及び大規模改修工事は、8月に契約を締結し、来年2月末完成に向け工事を進める。

委員からの意見や質問

問 コロナワクチン4回目接種の今後の計画は。

答 8月27日で集団接種は一定終了し、以降は個別対応となる。9月以降は国保診療所で個別接種を計画しているが、今後国の動きを見ながら進めていく。

問 後期高齢者医療が、10月から一部2割負担への移行が予定されている。町内被保険者884名のうち影響を受けるのはどれくらいか。

答 8月10日現在で93名が対象になると把握している。

問 マイナンバーカードの申請状況は。



地域公共交通デマンド化「ワツカー」

答 7月末現在で1517件の申請がある。

問 地域公共交通デマンド化事業について9月30日から実証実験が始まるが、周知方法は。

答 9月下旬に体験会を実施し、予約方法や乗降場所の説明、車両の見学を予定している。今後様々な機会を通じて説明し、利用していただけるよう努める。

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

第2回定例会が、7月25日に開催。一般質問では、教育長の施政方針やヤングケアラー問題・いじめ問題の取り組み、クリーンセンターの今後やSDGsの取り組みなどについて質問された。4年度の補正予算は、クリーンセンター安全対策工事の事務整理対応として36万円を増額し賛成者多数で可決した。
また議員選出の監査委員に、南山城村の久保憲司議員を選任した。

京都府後期高齢者医療広域連合議会

第2回定例会が、8月26日に開催。副連合長に渡辺連合事務局長を選任し同意した。
令和3年度決算について賛成者多数で認定した。4年度の補正予算は、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の制度延長による保険給付費の増額等で、賛成者全員で可決した。専決処分では、東日本大震災の被災者に対する保険料減免制度の延長について、賛成者全員で承認した。また、2件の請願書を不採択とした。

令和3年度決算額

一般会計

特別会計

歳入総額	15億6184万円
歳出総額	13億4701万円
歳入総額	3916億6577万円
歳出総額	3792億3704万円

産業常任委員会

2027年5月開催決定
ワールドマスターズゲームズ

吉田 井上・藤井
小西・岡田(泰)

8月25日、令和4年度事業執行状況等について事務調査を行った。

地域力推進課

○4月から7月までの観光案内所の来場者は、3045人で、観光客は少しずつ戻ってきている。農泊についても8月から再開され、状況を見ながら海外、修学旅行生の受入れを行う。

○和東スマートワークオフイスの利用については、9月1日から1月31日までの95日間、1企業から申請がある。
○延期となっていたW M G 大会は、2027年5月に開催される。

農村振興課

○茶源郷生活応援商品券事業では、コロナ交付金を

活用して1人1万円の商品券を交付した。

○農業次世代人材投資資金給付事業では、新規就農者個人3人と夫婦一組に資金給付を予定している。

建設事業課

○祝橋整備事業は、上部工の工事が10月末完成を目途に進んでいる。今後、右岸、左岸の道路改良を行い、来年度中の完成を目指し事業が進められる。

○8月16日から18日の豪雨による被災状況について、鉄砲水などで町内11か所の被災が確認された。

総合施設整備課

○総合保健福祉施設整備事業は計画どおり進んでお

り、これから社会福祉センターなどの解体工事が始まる。

委員からの意見や質問

問 下水道マンホールポンプの耐用年数や災害時、停電時の対応は。

答 耐用年数は15年。3時間程度の停電であれば対応できるが、以前それ以上の停電があった時には、バキュームカーで対応した。以後それを教訓に台風や豪雨が想定される場合、発電機を準備している。

問 原油・肥料の高騰に農業者は困っている。国・府の補助金制度はないのか。

答 国の施策として肥料代の支援制度がある。申請は個人からではなく農業者グループからとなる。

問 石寺橋架替工事について、どのように進められるのか。

答 現在の橋より下流側に新しく橋を架ける計画で、現時点、京都府と府警察の交差点協議が終わったところ。

広域連合議会報告

京都地方税機構広域連合議会

第2回定例会が、8月2日に開催。任期満了に伴う副連合長に与謝野町の山添藤真町長が選出され同意した。議員の異動により、副議長に亀岡市の福井秀昭議員を選任した。一般質問では、情報セキュリティ対策やキャッシュレス納付、コロナ禍のBCP対応方針や物価高の影響への課題などについて質問された。

令和3年度決算額

歳入総額	24億9476万円
歳出総額	24億9379万円

ろ。下島側の山を削り、下島への道と石寺への道がほぼ一直線になるよう計画している。

問 固定資産納税通知と合わせて空き家バンク制度を周知されているが、どういった形でPRされているのか。

答 空き家の所有者は、町外に転出されている方が多

問 最近、有害鳥獣による被害が増えてきているように思うが、現状は。

答 サルは集団ではなく、はぐれが出てきている。イノシシやシカも多い。

まちの
“元気”を
訪ねて

“お茶を中心とした環境で健康長寿!関係性を調査してみたい”

～国民健康保険診療所長 牛込 秀隆先生～

今回は、今年6月から診療所に勤務いただいている牛込先生にお話を伺いました。

Q 和東町の印象は？

A お茶のイメージがあります。茶源郷というだけあって、初めて見た茶畑の美しい景観には圧倒されました。田園風景が素晴らしいだけではなく、安積親王陵墓や後醍醐天皇ゆかりの祝橋などの史跡があることが、この土地の雰囲気にも深みを与えているように感じます。また、住んでいる町民の方たちの人柄がよく、日常診療にとっても協力的で助かっています。

Q 今までの経歴をお聞かせください。

A 平成七年に京都府立医科大学を卒業して、当時の第二外科に入局しました。前任者の桐山先生の後輩にあたります。専攻は外科で、



その中でも臓器移植の腎臓、脾臓、肝臓移植を専門にしてきました。令和元年から病院教授として診療部長をしていました。急性期医療に長年従事してきましたが、以前より地域医療や高齢者医療の問題に関心があり、そうした現場に実際に身を投じる必要性を感じていました。

Q 趣味などは？

A 学生時代に剣道をしていました。卒業後30年近くしていませんでしたが、昨年息子が剣道を始める機会に再開しています。高齢になっても継続できますし、稽古には相手が必要ですが、鍛錬は自分一人でもできるところが良いところですよ。

Q これから目指される地域医療は？

A 和東町は年々人口減の過疎地域ですが、都市部に近いのが特徴です。総合病院は山城総合医療センターや学研都市病院、奈良市立奈良病院や奈良県総合医療センターもあります。急性期の高度医療を必要とする場合は総合病院に託し、日頃の診療や急を要する処置(縫合等)などの一次医療の役割を果たしたいと考えています。また、和東町は京都府でも健康長寿の地域と言われています。お茶を中心とした環境が関係しているのかなどの調査もできたらと考えています。

(取材 村山一彦・岡田泰正)

編集後記

令和4年もあとわずか。今年もコロナ対策に追われた1年になりました。この夏流行した第7波オミクロン株の感染者は、和東町では391人にもなりました。(9月26日現在) まだまだ油断はできません。互いに注意しましょう。

2月にはロシアがウクライナに武力侵攻しました。19世紀じゃあるまいし正当な国家に武力侵攻など許されることなどありません。ウクライナの人々の嘆き、苦しみを見ると同情を禁じ得ません。

ここ近年、日本に大型台風が何度も襲来し、大きな被害が生じています。世界各地においても同様に干ばつ、水害が多発しており、食糧事業が急激に悪化しています。地球温暖化対策が喫緊の課題です。「今は戦争の時ではない」(インド・モディ首相)

(村山一彦)

広報編集委員会

- 委員長 村山一彦
- 副委員長 藤井清隆
- 委員 吉田哲也
- 委員 小西啓
- 委員 岡田泰正

第4回定例会は、12月中旬開催予定。